

加工用だいこん

月	旬	作型	主要作業	栽培の要点	摘要																							
8	上	#	畑の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・品種 大栄大蔵(ゆで干し用) ・性状 生育適温17~20 発芽適温15 30 以上では発芽障害を起す。 ・土壌 最適pHは5.8~6.8と弱酸性を好み、耕土が深く膨軟な土壌が適。 	<p>岐根の原因</p> <p>(1) 整地不良</p> <p>(2) 未熟堆肥を株元に多用した場合</p> <p>(3) センチュウや土壌害虫による初期の食害</p> <p>(4) 間引きや土寄せが遅れ倒伏した場合</p>																							
	中					施肥	<ul style="list-style-type: none"> ・植付予定畑はあらかじめ深く耕耘し、丁寧に碎土し膨軟な整地を行う。 ・耕土に硬い土塊等がまざると曲根、岐根を生ずる。硬い土は肥大不良を招く。 																					
	下						<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥の効果は大きいですが、未熟たい肥や未発酵の鶏糞等は岐根やひげ根が発生しやすいので早めに全層にすき込む。 																					
	上		播種			<ul style="list-style-type: none"> ・収穫期の労働配分上、経営面積に応じて播種期を2~4回ずらす。 	<p>施肥例 10a当たりkg</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">肥料名</th> <th style="width: 25%;">基肥</th> <th style="width: 25%;">追肥</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完熟たい肥</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミネリンパワー ホーソ入り苦土 硫化磷安250</td> <td>100kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燐硝安加里s646</td> <td>80</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>成分量</td> <td>N 12.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P 19.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 11.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	肥料名	基肥	追肥	完熟たい肥	2,000		ミネリンパワー ホーソ入り苦土 硫化磷安250	100kg		燐硝安加里s646	80	20	成分量	N 12.8			P 19.8			K 11.2	
	肥料名		基肥			追肥																						
	完熟たい肥		2,000																									
ミネリンパワー ホーソ入り苦土 硫化磷安250	100kg																											
燐硝安加里s646	80	20																										
成分量	N 12.8																											
	P 19.8																											
	K 11.2																											
中	除草剤散布 (播種直後)	<ul style="list-style-type: none"> ・10a当り種子量 シーダーテープ2巻(850m/巻) 畦幅60cm×株間27cm(6,100株/10a) 	<p>(行程)</p> <p>収穫 搬入 水洗 切断 湯がき 乾燥 袋詰め 出荷</p>																									
下	間引き	<ul style="list-style-type: none"> ・間引きは品質を揃えるために、きわめて重要な作業である。本葉4~5枚時に1本立てにする。 																										
上	追肥 土寄せ	<p>【間引くもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生育の著しく旺盛なもの、または遅れたもの (2) 葉色の黒ずんで光沢のないもの (3) 奇形葉や葉型の変ったもの (4) 病害虫をうけたもの 																										
中		<ul style="list-style-type: none"> ・間引き後、追肥を行い、併せて株元に土寄せする。 																										
下		<ul style="list-style-type: none"> ・加工品の品質を良くするためには、適期収穫が大切である。す入り、あみ入り(すじ入り)にならないよう生育の進んだ圃場より随時収穫し、2月上旬までには収穫を終える。 																										
上																												
2	上	#	加工	<p>秀品生産上の要点</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. ヤグラは北西の風がよくあたる場所に設置する。加工を行う場合は、天候に注意し、乾燥に日数がかかるような時は湯がきを行わない。 2. 湯がきを行う場合、釜8分目の湯の量を守り、大根の詰めすぎをさけ沸騰後上下の煮えムラがないようかくはんし、半煮え及び煮込みすぎをしない。 3. 干す時、雨雪に当てないよう留意し、出荷時の乾燥を徹底する。 																								
	中																											

異物混入防止の徹底を！！